

## 「風景を見る人」を「見る」行為

瀧健太郎（アーティスト）

拙作《ダークツーリズム》(2016)<sup>1</sup>は、カメラマンのカイ・ヴィーデンホーファー<sup>2</sup>が IS によるシリアの都市攻撃の惨状を写した写真を、「ベルリンの壁」の壁面全体に拡大した展示<sup>3</sup>を更に瀧が撮影したビデオ作品。作中でスマホを撮ると同時に傍観する人々の状況が、戦跡・観光・技術の交点に現出する、ある種の異常な場面を見せる。イデオロギーの違いが壁として現前する遺構の上に戦禍を二重焼き付けする様子を「見ている人」を、「見る」行為とは何か。記録メディアの反省的側面に触れながら、人新世期の風景における問題提起ができればと考える。

---

<sup>1</sup> <https://kentarotaki.wixsite.com/takiscope/gallery?pgid=k4s9scsc-77747152-52d8-4233-b205-9dc12de8facd>

<sup>2</sup> <http://kaiwiedenhoefer.com/>

<sup>3</sup> [https://en.wikipedia.org/wiki/East\\_Side\\_Gallery](https://en.wikipedia.org/wiki/East_Side_Gallery)